

では水を汚さないために、私たちには  
どんなことができるんだろう



残飯★	野菜くずやご飯の残りなどを流しに捨てない	
油★	天ぷら油や、サラダ油などの油も流しちゃダメ	
洗剤★	食器洗いや洗濯のとき、洗剤を必要以上に使わない	
ゴミ★	川にゴミを捨てるのもダメ。流れがよんだりして汚れてしまう	
森林★	森には水をきれいにする効果があるので、山や緑を大切に	

家で使った水は、お風呂やトイレ、台所などで使われて汚れてしまうので、そのまま川に流すことはできません。川を汚さないために、またきれいな水に戻してあげる必要があるんだ。



家で使われて汚れてしまった水は、下水道を通して地域の汚水ますに集められ、汚水処理場に向かう。

- 1 家で使われて汚れてしまった水は、下水道を通して地域の汚水ますに集められ、汚水処理場に向かう。
- 2 汚水処理場では、さまざまな過程でゴミや泥などの汚れを分解し、汚泥ときれいな水に分ける。
- 3 きれいになった水は川に戻り、また私たちの周りを循環する。汚泥は肥料や歩道の敷石、フラワーポットなどに姿を変えて、利用されているんだ。

川や湖などの水は、そのまま飲めるものはほとんどない。水を安心して飲めるように、きれいにしたものが水道の水。では、水はどうやってきれいにするんだろう。



山に降った雨は川となり、ダムに集められる。水はそこから、必要な分だけ浄水場に送られるんだ。

- 1 山に降った雨は川となり、ダムに集められる。水はそこから、必要な分だけ浄水場に送られるんだ。
- 2 ダムの水には、泥や体に悪いものが含まれている。これを取り除いて消毒し、飲めるようにするのが浄水場の役目。浄水場は、ダムの水だけでなく、地下水を汲み上げて飲める水を作っているところもあるんだ。
- 3 浄水場できれいになった水は、配水管を通して、家にある水道の蛇口までくるんだ。



## vol.2 水を考えよう

水は私たちの周りをぐるぐると循環しているんだ。雨が降ると、森や土の中に染み込んだ水は、川や地下水となって流れ、いずれ海に到達する。太陽の熱によって海や川や湖など、さまざまな場所から蒸発した水は、空に昇って雲になり、また雨になって大地に降り注ぐ。私たちが家や学校で飲んでいる水は、川となって海へ注ぐ途中の水を、飲めるようにきれいにした水なんだ。

実験してみよう

## 水の量をはかってみよう

私たちは水がないと生活できない。でも、私たちが1日に使っている水は、どのくらいの量だろう。あなたが1日に使う水の量をはかってみよう。

用意するもの

- 水を入れた1リットルのペットボトル
- 時計
- 記録用ノート

実験方法

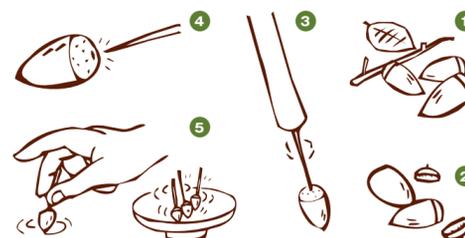
朝起きてから、夜寝るまでに、あなたが使った水の量をはかって記録しよう。飲み水や洗顔、食器などを洗うための水は、用意したペットボトルから使って、無くなったらまた入れる。そして何リットル分使ったのかを記録しておこう。

お風呂やトイレで使う水は、次の数字を目安に記録していこう。全部足したら、あなたが1日に使う水の量が計算できるよ。

- トイレ…大用で15リットル、小用で5リットル
- お風呂…普通のお風呂では、200リットル
- シャワー…1分間のシャワーで10リットル(時計で時間を計ってね)
- 洗濯機…1回の洗濯で150リットル

※前号の答え…分解するものは、食べ物のくず、木の葉、紙。分解できないものは、アルミホイル、ビニール袋、発泡スチロール。あなたの実験結果は正しかったかな？

## ドングリゴマの作り方



- ①なるべく形が良くとのったドングリを選ぶ
- ②ドングリのぼうし(ヘタ)を取る
- ③ぼうしを取ったところの真ん中に、キリかつまようじで小さく穴を開ける
- ④つまようじを数センチに切り、ドングリの穴に差し込む
- ⑤さあ、つまようじの部分をつかんで、コマのように回してみよう

木がたくさんある公園で散歩をしているとき、ふと地面を見ると、目に止まるのは小さなドングリ。思わず一手に取ると、おや、そこにもあそこにもドングリが落ちていた。振り返ってみると、今まで歩いてきた道にだって、たくさんドングリが落ちていた。そんな経験があるかな？

次から次へとたくさん拾って、袋いっぱいになり、誰が一番大きいドングリを見つけたか競争したり、集めるだけで楽しいドングリだけど、今回はお気に入りドングリで、かわいいコマを作って遊んでみよう。



昔の遊びはおもしろい？

